

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	売 上	24,000	現 金	24,000
2	当 座 預 金	500,000	現 金	500,000
	定 期 預 金	3,000,000	普 通 預 金	3,000,000
3	消 耗 品	50,000	現 金	20,000
			未 払 金	30,000
4	前 受 金	400,000	売 掛 金	1,000,000
	貸 倒 損 失	600,000		
5	買 掛 金	500,000	支 払 手 形	500,000
	通 信 費	1,000	未 払 金	1,000

・解説

1. 売上戻りに関する問題です。  
 売上時の逆仕訳をするだけですが、得意先振出小切手を受け取ったさいに現金の増加として処理しているので、解答仕訳の貸方は現金になります。当座預金にしないよう気をつけてください。

☆参考・売上時の仕訳

(借) 現金 24,000 / (貸) 売上 24,000

売上戻り・売上値引に関する問題は、第 100 回の間 1や第 114 回の間 3、第 123 回の間 5でも出題されているので、あわせてご確認ください。

2. 預金の預け替えに関する問題です。  
 本問はまず、問題文に「当座預金口座を開設し、現金 ¥ 500,000 を預け入れた」とあるので、100,000 円を現金から当座預金に振り替えます。さらに、問題文に「その担保として普通預金口座から ¥ 3,000,000 を定期預金口座へ預け入れた」とあるので、3,000,000 円を普通預金から定期預金に振り替えます。

なお、問題文の「口座開設と同時に限度額 ¥ 2,000,000 の当座借越契約を締結」はダミーデータです。ご注意ください。

預金の預け替えに関する問題は、第 112 回の間 2や第 141 回の間 2でも出題されています。あわせてご確認ください。

3. 消耗品に関する問題です。  
 問題に列挙されている勘定科目の中に**消耗品勘定がある（消耗品費勘定がない）**ので、消耗品勘定で処理します。また、商品以外の未払いは未払金で処理します。うっかり買掛金で処理しないように気をつけてください。

消耗品に関する問題は、第 101 回の間 5や第 118 回の間 4でも出題されています。あわせてご確認ください。

4. 債権の貸倒れに関する問題です。

貸倒れた売掛金 1,000,000 円のうち 400,000 円については、かねて注文を受けたさいに受け取っていた手付金と相殺しているので、**前受金**で処理します。

仕訳をパッとイメージできない方は、手付金受取時の仕訳を先に考えてみましょう。

☆参考・手付金受取時の仕訳

(借) 現金など 400,000 / (貸) 前受金 400,000

★解答①

(借) 前受金 400,000 / (貸) 売掛金 400,000

残額の 600,000 円については、問題文に「**残額は貸倒れとして処理した**」とあるので、指示に従って貸倒損失で処理しましょう。

なお、今回貸倒れた売掛金は**当期に発生したもの**なので、貸倒引当金を取り崩すことはできません。問題文の「**貸倒引当金の残高が ¥ 250,000 あった**」はダミーデータなので、うっかり貸倒引当金を取り崩さないように気をつけてください。

★解答②

(借) 貸倒損失 600,000 / (貸) 売掛金 600,000

以上、①②をまとめると解答仕訳になります。

債権の貸倒れに関する問題は、第 101 回の問 2や第 109 回の問 1、第 116 回の問 4、第 120 回の問 5、第 128 回の問 2、第 139 回の問 5、第 146 回の問 4、第 149 回の問 3でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. 手形の振出しに関する問題です。

手形取引に関しては買掛金を支払手形に振り替えるだけなので簡単です。

郵送代金の処理は少し迷ったかもしれませんが、**通信費**で費用処理します。また、商品以外の未払いは未払金で処理します。うっかり買掛金で処理しないように気をつけてください。